



# デバイスのファイルシステム、ディレクトリ、およびファイルの使用方法

---

この章では、デバイスのファイルシステム、ディレクトリ、およびファイルの使用方法について説明します。

- デバイスのファイルシステム、ディレクトリ、および外部ストレージデバイスについての情報, [on page 1](#)
- ディレクトリの操作, [on page 3](#)
- ファイルの使用, [on page 6](#)
- アーカイブファイルの操作 (11 ページ)
- ファイルシステムの使用例, [on page 15](#)
- ファイルシステムパラメータのデフォルト設定, [on page 19](#)
- ファイルシステムに関する追加情報, [on page 19](#)

## デバイスのファイルシステム、ディレクトリ、および外部ストレージデバイスについての情報

ここでは、Cisco NX-OS デバイスのファイルシステム、ディレクトリ、およびファイルと、Cisco NX-OS デバイス上の外部保存について説明します。

### ファイルシステム

ローカルファイルシステムを指定するための構文は、`filesystem:[//modules/]` です。



---

**Note** デフォルトのファイルシステムパラメータは `bootflash:` です。

---

次の表に、デバイス上で参照可能な各種ファイルシステムの説明を示します。

**Table 1:** ファイルシステムのコンポーネント

ファイルシステム名	モジュール	説明
ブートフラッシュ	sup-active sup-local	アクティブスーパーバイザモジュールにある内部コンパクトフラッシュメモリ。イメージファイル、構成ファイル、およびその他のファイルを格納するためにスーパーバイザモジュールに搭載された外部USBフラッシュメモリ。初期デフォルトディレクトリは <code>bootflash</code> です。
	sup-standby sup-remote	スタンバイスーパーバイザモジュールにある内部コンパクトフラッシュメモリ。イメージファイル、構成ファイル、およびその他のファイルを格納するためにスーパーバイザモジュールに搭載された外部USBフラッシュメモリ。
volatile	—	スーパーバイザモジュールに搭載された揮発性RAM (VRAM)。一時的または保留中の変更に使用されます。
log	—	アクティブスーパーバイザモジュールのメモリ。ファイル統計ログの保存に使用されます。
システム	—	スーパーバイザモジュールのメモリ。実行構成ファイルの保存に使用されます。
debug	—	スーパーバイザモジュールのメモリ。デバッグログの保存に使用されます。

## ディレクトリ

**bootflash:** および外部フラッシュメモリ (slot0:、usb1:、およびusb2:) にディレクトリを作成できます。ユーザーはディレクトリからファイルを作成、保存、およびアクセスすることができます。

## ファイル

ユーザーは、**bootflash:**、**volatile:**、**slot0:**、**usb1:**、および**usb2:** ファイルシステムにファイルを作成し、アクセスすることができます。**system:** ファイルシステムのファイルにはアクセスだけが可能です。**debug:** ファイルシステムには、**debug logfile** コマンドを使用して指定されたデバッグログファイルを保存できます。

FTP、Secure Copy (SCP)、Secure File Transfer Protocol (SFTP)、およびTFTPを使用すれば、リモートサーバーからシステムイメージファイルなどのファイルをダウンロードできます。デバイスはSCPサーバーとして動作できるので、外部サーバーからデバイスへファイルをコピーすることもできます。

## ディレクトリの操作

ここでは、Cisco NX-OS デバイスでディレクトリを操作する手順を説明します。

## カレントディレクトリの特定

カレントディレクトリのディレクトリ名を表示できます。

### SUMMARY STEPS

1. `pwd`

### DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	<code>pwd</code> <b>Example:</b> switch# <code>pwd</code>	カレントディレクトリの名前を表示します。

## カレントディレクトリの変更

ファイルシステムの操作のためカレントディレクトリを変更できます。初期デフォルトディレクトリは **bootflash:** です。

## SUMMARY STEPS

1. (Optional) **pwd**
2. **cd** {*directory* | *filesystem*:*//module*}[*directory*]

## DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) <b>pwd</b> <b>Example:</b> switch# pwd	現在のデフォルトディレクトリの名前を表示します。
ステップ 2	<b>cd</b> { <i>directory</i>   <i>filesystem</i> : <i>//module</i> }[ <i>directory</i> ] <b>Example:</b> switch# cd slot0:	新しいカレントディレクトリに変更します。ファイルシステム、モジュール、およびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。

## ディレクトリの作成

bootflash: およびフラッシュ デバイス ファイル システムでディレクトリを作成できます。

## SUMMARY STEPS

1. (Optional) **pwd**
2. (Optional) **cd** {*directory* | *filesystem*:*//module*}[*directory*]
3. **mkdir** [*filesystem*:*//module*]*directory*

## DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) <b>pwd</b> <b>Example:</b> switch# pwd	現在のデフォルトディレクトリの名前を表示します。
ステップ 2	(Optional) <b>cd</b> { <i>directory</i>   <i>filesystem</i> : <i>//module</i> }[ <i>directory</i> ] <b>Example:</b> switch# cd slot0:	新しいカレントディレクトリに変更します。ファイルシステム、モジュール、およびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。
ステップ 3	<b>mkdir</b> [ <i>filesystem</i> : <i>//module</i> ] <i>directory</i> <b>Example:</b> switch# mkdir test	新しいディレクトリを作成します。 <i>filesystem</i> 引数では、大文字と小文字が区別されます。 <i>directory</i> 引数は、64 文字以内の英数字で指定します。大文字と小文字が区別されます。

## ディレクトリの内容の表示

ディレクトリの内容を表示できます。

## SUMMARY STEPS

1. **dir** [*directory* | *filesystem:[//module/][directory]*]

## DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	<b>dir</b> [ <i>directory</i>   <i>filesystem:[//module/][directory]</i> ] <b>Example:</b> switch# dir bootflash:test	ディレクトリの内容を表示します。デフォルト値は、現在の作業ディレクトリです。ファイルシステム名およびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。

## ディレクトリの削除

ディレクトリは、デバイス上のファイルシステムから削除できます。

### Before you begin

ディレクトリを削除する前に、ディレクトリが空白であることを確認します。

## SUMMARY STEPS

1. (Optional) **pwd**
2. (Optional) **dir** [*filesystem :[//module/][directory]*]
3. **rmdir** [*filesystem :[//module/]*]*directory*

## DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) <b>pwd</b> <b>Example:</b> switch# pwd	現在のデフォルトディレクトリの名前を表示します。
ステップ 2	(Optional) <b>dir</b> [ <i>filesystem :[//module/][directory]</i> ] <b>Example:</b> switch# dir bootflash:test	カレントディレクトリの内容を表示します。ファイルシステム、モジュール、およびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。  ディレクトリが空白でない場合は、ディレクトリを削除する前に、ディレクトリ内のすべてのファイルを削除する必要があります。
ステップ 3	<b>rmdir</b> [ <i>filesystem :[//module/]</i> ] <i>directory</i> <b>Example:</b> switch# rmdir test	ディレクトリを削除します。ファイルシステムおよびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。

## スタンバイスーパーバイザモジュール上のディレクトリへのアクセス

アクティブスーパーバイザモジュール上のセッションからスタンバイスーパーバイザモジュール（リモート）上のすべてのファイルシステムにアクセスできます。この機能は、アクティブスーパーバイザモジュールにファイルをコピーしたら、同じファイルをスタンバイスーパーバイザモジュール上にもコピーする必要がある場合に役立ちます。

アクティブスーパーバイザモジュール上のセッションからスタンバイスーパーバイザモジュール上のファイルシステムにアクセスするには、`filesystem://sup-remote/` コマンドまたは `filesystem://sup-standby/` コマンドを使用して、ファイルのパスにスタンバイスーパーバイザモジュールを指定します。

## ファイルの使用

ここでは、Cisco NX-OS デバイスでファイルを使用する手順を説明します。

### ファイルの移動

ディレクトリ内のファイルを別のディレクトリに移動できます。



**Caution** 宛先ディレクトリに同名のファイルがすでに存在する場合は、そのファイルは移動対象のファイルによって上書きされます。

**move** コマンドを使用して、同じディレクトリ内でファイルを移動することにより、ファイルの名前を変更できます。

#### SUMMARY STEPS

1. (Optional) **pwd**
2. (Optional) **dir** `filesystem://[module]/[directory]`
3. **move** `filesystem://[module]/[directory /] | directory/[source-filename] {filesystem://[module]/[directory /] | directory/}[target-filename] | target-filename}`

#### DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) <b>pwd</b>  <b>Example:</b> switch# pwd	現在のデフォルトディレクトリの名前を表示します。

	Command or Action	Purpose
ステップ 2	(Optional) <b>dir</b> [ <i>filesystem:[//module/][directory]</i> ]  <b>Example:</b> switch# dir bootflash	カレントディレクトリの内容を表示します。ファイルシステムおよびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。
ステップ 3	<b>move</b> [ <i>filesystem:[//module/][directory /]   directory/</i> ] <i>source-filename</i> { <i>filesystem:[//module/][directory /]   directory/</i> }[ <i>target-filename</i> ]   <i>target-filename</i> }  <b>Example:</b> switch# move test old_tests/test1	ファイルを移動します。  ファイルシステム、モジュール、およびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。  <i>target-filename</i> 引数は、64 文字以内の英数字で指定します。大文字と小文字が区別されます。  <i>target-filename</i> 引数を指定しないと、ファイル名はデフォルトで <i>source-filename</i> 引数値に設定されます。

## ファイルのコピー

ファイルのコピーは、同じディレクトリまたは別のディレクトリのいずれかで作成できます。



**Note** **dir** コマンドを使用して、コピー先のファイルシステムに十分な領域があることを確認します。十分な領域が残っていない場合は、**delete** コマンドを使用して不要なファイルを削除します。

### SUMMARY STEPS

1. (Optional) **pwd**
2. (Optional) **dir** [*filesystem:[//module/][directory]*]
3. **copy** [*filesystem:[//module/][directory/] | directory/*]*source-filename* | {*filesystem:[//module/][directory/]* | *directory/*}[*target-filename*]

### DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) <b>pwd</b>  <b>Example:</b> switch# pwd	現在のデフォルト ディレクトリの名前を表示します。
ステップ 2	(Optional) <b>dir</b> [ <i>filesystem:[//module/][directory]</i> ]  <b>Example:</b> switch# dir bootflash	カレントディレクトリの内容を表示します。ファイルシステムおよびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。

	Command or Action	Purpose
ステップ 3	<p><b>copy</b> [<i>filesystem:[//module/][directory/]</i>   <i>directory/</i>]<i>source-filename</i>   <i>{filesystem:[//module/][directory/]</i>   <i>directory/}</i><i>target-filename</i></p> <p><b>Example:</b> switch# copy test old_tests/test1</p>	<p>ファイルをコピーします。ファイルシステム、モジュール、およびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。<i>source-filename</i> の引数は、64文字以内の英数字で指定します。大文字と小文字が区別されます。<i>target-filename</i> 引数を指定しないと、ファイル名はデフォルトで <i>source-filename</i> 引数値に設定されます。</p> <p><b>copy</b> コマンドは、ftp、scp、sftp、tftp、および http プロトコルをサポートします。</p>

## ファイルの削除

ディレクトリからファイルを削除できます。

### SUMMARY STEPS

1. (Optional) **dir** [*filesystem:[//module/][directory/]*]
2. **delete** *{filesystem:[//module/][directory/]* | *directory/}**filename*

### DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	<p>(Optional) <b>dir</b> [<i>filesystem:[//module/][directory/]</i>]</p> <p><b>Example:</b> switch# dir bootflash</p>	<p>カレントディレクトリの内容を表示します。ファイルシステムおよびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。</p>
ステップ 2	<p><b>delete</b> <i>{filesystem:[//module/][directory/]</i>   <i>directory/}</i><i>filename</i></p> <p><b>Example:</b> switch# delete test old_tests/test1</p>	<p>ファイルを削除します。ファイルシステム、モジュール、およびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。<i>source-filename</i> 引数では、大文字と小文字が区別されます。</p> <p><b>Caution</b> 1つのディレクトリを指定している場合、<b>delete</b> コマンドではディレクトリ全体とその内容すべてが削除されます。</p>

## ファイル内容の表示

ファイルの内容を表示できます。

### SUMMARY STEPS

1. **show file** [*filesystem:[//module/]*][*directory/*]*filename*



## DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	<b>show file</b> [ <i>filesystem:[//module/]</i> ][ <i>directory/</i> ] <i>filename</i> <b>Example:</b> switch# show file bootflash:test-results	ファイルの内容を表示します。

## ファイルチェックサムの表示

ファイルの整合性をチェックするチェックサムを表示できます。

### SUMMARY STEPS

1. **show file** [*filesystem:[//module/]*][*directory/*]*filename* {**cksum** | **md5sum**}

### DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	<b>show file</b> [ <i>filesystem:[//module/]</i> ][ <i>directory/</i> ] <i>filename</i> { <b>cksum</b>   <b>md5sum</b> } <b>Example:</b> switch# show file bootflash:trunks2.cfg cksum	ファイルのチェックサムまたは MD5 チェックサムを表示します。

## ファイルの圧縮と解凍

Lempel-Ziv 1977 (LZ77) コーディングを使用して Cisco NX-OS デバイス上のファイルを圧縮および圧縮解除できます。

### SUMMARY STEPS

1. (Optional) **dir** [*filesystem:[//module/]*]*directory*]
2. **gzip** [*filesystem:[//module/]*][*directory/*] | *directory/*]*filename*
3. **gunzip** [*filesystem:[//module/]*][*directory/*] | *directory/*]*filename* **.gz**

### DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) <b>dir</b> [ <i>filesystem:[//module/]</i> ] <i>directory</i> ] <b>Example:</b> switch# dir bootflash:	カレントディレクトリの内容を表示します。ファイルシステムおよびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。
ステップ 2	<b>gzip</b> [ <i>filesystem:[//module/]</i> ][ <i>directory/</i> ]   <i>directory/</i> ] <i>filename</i> <b>Example:</b>	ファイルを圧縮します。ファイルが圧縮されると、.gz サフィクスが付けられます。

	Command or Action	Purpose
	switch# gzip show_tech	
ステップ 3	<b>gunzip</b> [filesystem:[//module/]][directory/]   directory/]filename .gz  <b>Example:</b> switch# gunzip show_tech.gz	ファイルを圧縮解除します。圧縮解除するファイルのサフィクスは、.gzである必要があります。ファイルが圧縮解除されると、サフィクスは.gzではなくなります。

## ファイルの最終行の表示

ファイルの最後の行を表示できます。

### SUMMARY STEPS

1. **tail** [filesystem:[//module/]][directory/]filename [lines]

### DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	<b>tail</b> [filesystem:[//module/]][directory/]filename [lines]  <b>Example:</b> switch# tail ospf-gr.conf	ファイルの最後の行を表示します。デフォルトの行数は 10 です。有効な範囲は 0 ~ 80 行です。

## ファイルへの show コマンド出力のリダイレクト

**show** コマンドの出力は、bootflash:、slot0:、volatile:、またはリモートサーバー上のファイルにリダイレクトできます。また、コマンド出力のフォーマットを指定することもできます。

### SUMMARY STEPS

1. (Optional) **terminal redirection-mode** {ascii | zipped}
2. **show-command** > [filesystem:[//module/]][directory/] | [directory /]filename

### DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) <b>terminal redirection-mode</b> {ascii   zipped}  <b>Example:</b> switch# terminal redirection-mode zipped	ユーザーセッションに対して <b>show</b> コマンド出力のリダイレクションモードを設定します。デフォルトモードは <b>ascii</b> です。
ステップ 2	<b>show-command</b> > [filesystem:[//module/]][directory/]   [directory /]filename  <b>Example:</b> switch# show tech-support > bootflash:techinfo	<b>show</b> コマンドからの出力をファイルにリダイレクトします。

## ファイルの検索

特定のストリングで始まる名前を持つファイルを現在の作業ディレクトリとそのサブディレクトリで検索できます。

### SUMMARY STEPS

1. (Optional) **pwd**
2. (Optional) **cd** {filesystem:[//module/][directory] | directory}
3. **find filename-prefix**

### DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) <b>pwd</b> <b>Example:</b> switch# pwd	現在のデフォルト ディレクトリの名前を表示します。
ステップ 2	(Optional) <b>cd</b> {filesystem:[//module/][directory]   directory} <b>Example:</b> switch# cd bootflash:test_scripts	デフォルト ディレクトリを変更します。
ステップ 3	<b>find filename-prefix</b> <b>Example:</b> switch# find bgp_script	指定したファイル名プレフィックスで始まるすべてのファイル名をデフォルトディレクトリとそのサブディレクトリで検索します。ファイル名プレフィクスでは、大文字と小文字が区別されます。

## アーカイブ ファイルの操作

Cisco NX-OS ソフトウェアは、アーカイブ ファイルをサポートしています。アーカイブ ファイルの作成の他に、アーカイブ ファイルにファイルを追加したり、アーカイブ ファイルからファイルを抽出したり、アーカイブファイル内のファイルのリストを表示したりすることができます。

### アーカイブ ファイルの作成

アーカイブ ファイルを作成し、アーカイブ ファイルにファイルを追加できます。次の圧縮タイプを指定できます。

- bzip2
- gzip
- 未圧縮

デフォルト値は **gzip** です。

手順の概要

1. `tar create {bootflash: | volatile:}archive-filename [absolute] [bz2-compress] [gz-compress] [remove] [uncompressed] [verbose] filename-list`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>tar create {bootflash:   volatile:}archive-filename [absolute] [bz2-compress] [gz-compress] [remove] [uncompressed] [verbose] filename-list</code>	<p>アーカイブファイルを作成し、アーカイブファイルにファイルを追加します。ファイル名は英数字で指定します（大文字と小文字は区別されません）。最大文字数は 240 です。</p> <p><b>absolute</b> キーワードは、先頭のバックスラッシュ文字 (\) を、アーカイブファイルに追加されたファイルの名前から削除しないことを指定します。デフォルトでは、先頭のバックスラッシュ文字は削除されます。</p> <p><b>bz2-compress</b>、<b>gz-compress</b>、および <b>uncompressed</b> のキーワードは、アーカイブにファイルを追加するとき（または後で追加するとき）に使用する圧縮ユーティリティと、ファイルを抽出するときに使用する解凍ユーティリティを決定します。アーカイブファイルに拡張子を指定しない場合、デフォルト値は次のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>bz2-compress</b> の場合、拡張子は <code>.tar.bz2</code> です。</li> <li>• <b>gz-compress</b> の場合、拡張子は <code>.tar.gz</code> です。</li> <li>• <b>uncompressed</b> の場合、拡張子は <code>.tar</code> です。</li> </ul> <p><b>remove</b> キーワードは、アーカイブにファイルを追加した後に、Cisco NX-OS ソフトウェアがファイルシステムからこれらのファイルを削除することを指定します。デフォルトでは、ファイルは削除されません。</p> <p><b>verbose</b> キーワードは、Cisco NX-OS ソフトウェアが、ファイルがアーカイブに追加されるときにファイルをリストすることを指定します。デフォルトで、ファイルは追加されると一覧表示されます。</p>

例

次に、`gzip` 圧縮アーカイブファイルを作成する例を示します。

```
switch# tar create bootflash:config-archive gz-compress bootflash:config-file
```

## アーカイブ ファイルへのファイルの追加

Cisco NX-OS デバイス上の既存のアーカイブ ファイルにファイルを追加できます。

始める前に

Cisco NX-OS デバイスでアーカイブ ファイルを作成しました。

### 手順の概要

1. `tar append {bootflash: | volatile:}archive-filename [absolute] [remove] [verbose] filename-list`

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>tar append {bootflash:   volatile:}archive-filename [absolute] [remove] [verbose] filename-list</code>	<p>既存のアーカイブ ファイルにファイルを追加します。アーカイブファイル名では、大文字と小文字は区別されません。</p> <p><b>absolute</b> キーワードは、先頭のバックスラッシュ文字 (\) を、アーカイブ ファイルに追加されたファイルの名前から削除しないことを指定します。デフォルトでは、先頭のバックスラッシュ文字は削除されます。</p> <p><b>remove</b> キーワードは、アーカイブにファイルを追加した後に、Cisco NX-OS ソフトウェアがファイルシステムからこれらのファイルを削除することを指定します。デフォルトでは、ファイルは削除されません。</p> <p><b>verbose</b> キーワードは、Cisco NX-OS ソフトウェアが、ファイルがアーカイブに追加されるときにファイルをリストすることを指定します。デフォルトで、ファイルは追加されると一覧表示されます。</p>

### 例

次に、既存のアーカイブ ファイルにファイルを追加する例を示します。

```
switch# tar append bootflash:config-archive.tar.gz bootflash:new-config
```

## アーカイブ ファイルからのファイルの抽出

ファイルは、Cisco NX-OS デバイス上の既存のアーカイブ ファイルに抽出できます。

始める前に

Cisco NX-OS デバイスでアーカイブファイルを作成しました。

手順の概要

1. `tar extract {bootflash: | volatile:}archive-filename [keep-old] [screen] [to {bootflash: | volatile:}[/directory-name]] [verbose]`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>tar extract {bootflash:   volatile:}archive-filename [keep-old] [screen] [to {bootflash:   volatile:}[/directory-name]] [verbose]</code>	<p>既存のアーカイブファイルからファイルを抽出します。アーカイブファイル名では、大文字と小文字は区別されません。</p> <p><b>keep-old</b> キーワードは、Cisco NX-OS ソフトウェアが、抽出されるファイルと同じ名前を持つファイルを上書きしないことを示します。</p> <p><b>screen</b> キーワードは、Cisco NX-OS ソフトウェアが、抽出されたファイルの内容を端末画面に表示することを指定します。</p> <p><b>to</b> キーワードは、ターゲットファイルシステムを指定します。ディレクトリ名を含めることができます。ディレクトリ名は、240 文字以内の英数字で指定します。大文字と小文字が区別されます。</p> <p><b>verbose</b> キーワードは、Cisco NX-OS ソフトウェアが、抽出されるファイルの名前を表示することを指定します。</p>

例

次に、既存のアーカイブファイルからファイルを抽出する例を示します。

```
switch# tar extract bootflash:config-archive.tar.gz
```

## アーカイブファイルのファイル名の表示



(注) アーカイブファイル名では、大文字と小文字は区別されません。

アーカイブファイル内のファイル名を表示するには、次のコマンドを実行します。

```
tar list {bootflash: | volatile:}archive-filename
```

例：

```
switch# tar list bootflash:config-archive.tar.gz
config-file
new-config
```

## ファイルシステムの使用例

ここでは、Cisco NX-OS デバイスでのファイルシステムの使用例を示します。

### スタンバイ スーパーバイザ モジュール上のディレクトリへのアクセス

次に、スタンバイ スーパーバイザモジュール上のファイルのリストを表示する例を示します。

```
switch# dir bootflash://sup-remote
 12198912   Aug 27 16:29:18 2003  m9500-sflek9-kickstart-mzg.1.3.0.39a.bin
  1864931   Apr 29 12:41:59 2003  dplug2
   12288    Apr 18 20:23:11 2003  lost+found/
12097024   Nov 21 16:34:18 2003  m9500-sflek9-kickstart-mz.1.3.1.1.bin
 41574014   Nov 21 16:34:47 2003  m9500-sflek9-mz.1.3.1.1.bin

Usage for bootflash://sup-remote
 67747169 bytes used
116812447 bytes free
184559616 bytes total
```

次に、スタンバイ スーパーバイザ モジュール上のファイルを削除する例を示します。

```
switch# delete bootflash://sup-remote/aOldConfig.txt
```

## ファイルの移動

次に、外部フラッシュ デバイス上のファイルを移動する例を示します。

```
switch# move slot0:samplefile slot0:mystorage/samplefile
```

次に、デフォルト ファイルシステム内のファイルを移動する例を示します。

```
switch# move samplefile mystorage/samplefile
```

## ファイルのコピー

次に、slot0: ファイルシステムのルートディレクトリから、samplefile というファイルを mystorage ディレクトリにコピーする例を示します。

```
switch# copy slot0:samplefile slot0:mystorage/samplefile
```

次に、カレント ディレクトリからファイルをコピーする例を示します。

```
switch# copy samplefile mystorage/samplefile
```

次に、アクティブ スーパーバイザ モジュールのブートフラッシュからスタンバイ スーパーバイザ モジュールのブートフラッシュにファイルをコピーする例を示します。

```
switch# copy bootflash:system_image bootflash://sup-2/system_image
```



**Note** `copy` コマンドを使用して、slot0: または bootflash: ファイルシステムと、FTP、TFTP、SFTP、またはSCPサーバの間でファイルのアップロードおよびダウンロードを行うこともできます。

## ディレクトリの削除

ディレクトリは、デバイス上のファイルシステムから削除できます。

### Before you begin

ディレクトリを削除する前に、ディレクトリが空白であることを確認します。

### SUMMARY STEPS

1. (Optional) `pwd`
2. (Optional) `dir [filesystem :[/module/][directory]]`
3. `rmdir [filesystem :[/module/]]directory`

### DETAILED STEPS

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	(Optional) <code>pwd</code> <b>Example:</b> switch# pwd	現在のデフォルト ディレクトリの名前を表示します。
ステップ 2	(Optional) <code>dir [filesystem :[/module/][directory]]</code> <b>Example:</b> switch# dir bootflash:test	カレントディレクトリの内容を表示します。ファイルシステム、モジュール、およびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。



	Command or Action	Purpose
		ディレクトリが空白でない場合は、ディレクトリを削除する前に、ディレクトリ内のすべてのファイルを削除する必要があります。
ステップ 3	<b>rmdir</b> [ <i>filesystem</i> : <i>[/module/]</i> ] <i>directory</i>  <b>Example:</b> switch# rmdir test	ディレクトリを削除します。ファイルシステムおよびディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。

## ファイル内容の表示

外部フラッシュ デバイスのファイルの内容を表示する例を示します。

```
switch# show file slot0:test
configure terminal
interface ethernet 1/1
no shutdown
end
show interface ethernet 1/1
```

現在のディレクトリに存在するファイルの内容を表示する例を示します。

```
switch# show file myfile
```

## ファイル チェックサム の表示

次に、ファイルのチェックサムを表示する例を示します。

```
switch# show file bootflash:trunks2.cfg cksum
583547619
```

次に、ファイルの MD5 チェックサムを表示する例を示します。

```
switch# show file bootflash:trunks2.cfg md5sum
3b94707198aabefcf46459de10c9281c
```

## ファイルの圧縮と解凍

次に、ファイルを圧縮する例を示します。

```
switch# dir
 1525859      Jul 04 00:51:03 2003 Samplefile
...
switch# gzip volatile:Samplefile
switch# dir
 266069      Jul 04 00:51:03 2003 Samplefile.gz
```

...

次に、圧縮ファイルを解凍する例を示します

```
switch# dir
    266069      Jul 04 00:51:03 2003 Samplefile.gz
...
switch# gunzip samplefile
switch# dir
    1525859    Jul 04 00:51:03 2003 Samplefile
...
```

## show コマンド出力のリダイレクト

次に、出力を bootflash: ファイルシステム上のファイルに誘導する例を示します。

```
switch# show interface > bootflash:switch1-intf.cfg
```

次に、出力を外部フラッシュメモリ上のファイルに誘導する例を示します。

```
switch# show interface > slot0:switch-intf.cfg
```

次に、出力を TFTP サーバ上のファイルに誘導する例を示します。

```
switch# show interface > tftp://10.10.1.1/home/configs/switch-intf.cfg
Preparing to copy...done
```

次に、**show tech-support** コマンドの出力をファイルにダイレクトする例を示します。

```
switch# show tech-support > Samplefile
Building Configuration ...
switch# dir
    1525859    Jul 04 00:51:03 2003 Samplefile
Usage for volatile://
    1527808 bytes used
    19443712 bytes free
    20971520 bytes total
```

## ファイルの検索

次に、現在のデフォルトディレクトリ内でファイルを検索する例を示します。

```
switch# find smm_shm.cfg
/usr/bin/find: ./lost+found: Permission denied
./smm_shm.cfg
./newer-fs/isan/etc/routing-sw/smm_shm.cfg
./newer-fs/isan/etc/smm_shm.cfg
```

## ファイルシステムパラメータのデフォルト設定

次の表に、ファイルシステムパラメータのデフォルト設定を示します。

**Table 2:** デフォルトのファイルシステム設定

パラメータ	デフォルト
デフォルトファイルシステム	bootflash:

## ファイルシステムに関する追加情報

ここでは、ファイルシステムに関する追加情報について説明します。

### ファイルシステムの関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
ライセンス	『Cisco NX-OS Licensing Guide』
コマンドリファレンス	『Cisco Nexus 3000 Series NX-OS Command Reference』



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。